

しあわせ      メッセージ  
幸福   の手紙   審査総評

- 素晴らしい言葉がたくさんありました。人は言葉で助けられ、助けることができるものです。NO.95の作品は心が打たれました。自分の思いだけに走らず、人からの言葉を聞く心が成長させてくれるのを感じさせてもらいました。
- 「私を救ってくれた言葉」には、それぞれの生育や場面が状況が違うため、受け取り方も考え方、感じ方が違うので、審査するのに大変苦労しました。両親、友だち、先生、音楽やアニメ等、その人にしか感じられない救われた言葉だったと思います。多くの作品が心にしみる救われた言葉であったと思います。情景が浮かんできます。
- 100の言葉より そっとあなたに寄り添う  
誰かの「やさしさ」に人は救われるのですね。  
言葉の力を受けるには、同時に心を聞くことが必要だと感じました。  
そんな手紙に心引かれました。
- 日本の学生の方、留学生の幸福の手紙を拝見させていただきました。日本人でありながらも生活環境のなかに個々の困難や教育環境を認識しながら将来を考えている生徒が沢山いることを感じる事が出来ました。留学生も言葉の壁を感じながらも日々努力して一步一步成長し、介護福祉士を目指しています。「私を救ってくれた言葉」の多くのワードに「ありがとう」が散見され、自分が困難な環境であっても「誰かの為」であれば頑張れるということがいつも時代であっても変わらない気持ちよい言葉です。
- 言葉の重要性を感じる内容の手紙が多くあり、改めて、言葉の重要性を自分自身も感じる事が出来ました。相手を十分に思っ発せられた言葉だけでなく、何気ない言葉の中にも、また、助けられたり、逆に傷つけれることをお互いに認識することが重要かと思えます。手紙の中には、その内容が多く含まれていました。
- 様々なエピソードを拝見し、皆さん人生の中でそれぞれ「救われた言葉」をお持ちなんだな、そしてそれを心に留めて、その言葉をくれた方にいつまでも感謝している。それはみんなとても素晴らしいことだと感じました。介護の仕事を通じた中でのエピソードは特に心を打つものがありました。自分が介護現場出身だということもあるのですが…。留学生の方が一生懸命、真剣に思いをつづったエピソードも、必死で日本で生活する中で救いになった言葉としてとても強いメッセージを感じました。